

「2018年4～6月期 中小企業 景気動向調査」 結果報告

— 業況DI横ばいながら、高水準を維持 —

一般財団法人しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたので、ご報告します。

1. 調査概要（調査/しんきん経済研究所、協力/浜松商工会議所）

調査時期	2018年6月1日～8日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 661社
回収状況	回収数 636社（回収率 96.2%）
調査方法	調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫、磐田信用金庫に委託）

2. 調査結果

① 2018年4～6月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで5.5となり、2018年3月の前回調査（5.4）と比べて0.1ポイント改善となった。前々回は1996年の調査以来はじめて10を上回ったが、今回も前回に続き、10を下回る結果となった。ただし、過去と比べると業況の水準は高い。

② 2018年7～9月期の見通し

次回の業況DIは2.4ポイント改善の7.9を見込む。

③ 主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	→ 今期	→ 次期見通し	
全体	636	5.4	5.5	7.9	
製造業	333	14.9	11.1	15.7	業況DIは高水準を維持、ただし人手不足と原材料価格上昇は重荷に。
二輪車部品製造	51	24.0	7.8	11.8	業況DI悪化も、5四半期連続のプラス水準を維持。
自動車部品製造	74	26.9	12.2	20.3	業況DIは悪化もプラス水準を維持。人手不足は深刻も、受注好調のコメント多し。
機械部品製造	58	9.3	22.4	22.4	業況DIは高水準に。受注好調のコメント多し。
楽器部品製造	18	-11.1	-5.6	5.6	業況DI小幅改善、材料費上昇により収益を圧迫。
繊維製造	25	16.7	0.0	8.0	受注良好のコメント減少、業況DIはプラス水準解消。
製茶製造	21		0.0	0.0	18年6月から調査開始。新茶シーズンを迎え、売上価格DIはプラスの水準。
製材製造	14		-14.3	-14.3	18年6月から調査開始。原材料在庫は過剰の状況。
卸売業	75	-13.6	-5.3	5.4	業況DI改善、再びマイナス水準の解消間近。明るいコメント増える。
小売業	60	-5.6	-18.3	-18.3	販売好調なコメント減少し、業況は悪化、マイナス幅を広げる。
建設業	70	7.8	8.6	0.0	業況DI横ばい、4四半期連続のプラス水準。
不動産業	43	7.5	14.0	7.0	業況DI改善、6四半期連続のプラス水準。商品物件が不足している。
飲食・宿泊・レジャー等	19	-53.8	-5.3	-10.5	飲食の好調ぶりを受け、業況DI大幅改善。

本件のお問い合わせ先

◆◆ 4月より法人組織を変更しました ◆◆

一般財団法人 しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場2丁目7-1 浜松商工会議所5階